

情報教育セミナー

2020 in みなとみらい

「情報 I」を見据えたデータ分析と探究学習の取り組み

IoTの普及が進む中で、Society5.0とも呼ばれる新たな時代が到来し、社会生活が大きく変わろうとしています。この時代を生きる子どもたちには、知識や技能を身に付けるだけでなく、実際に活用する力を養うことが求められています。

新学習指導要領では、小学校からのプログラミング必修が話題となっていますが、高校では、教科横断的な探究学習やデータ分析が注目されています。新学習指導要領「情報 I」では、仮説を立て、データ分析をもとに検証するというプロセスを学習に取り入れていくことが求められています。

今回のテーマは「データ分析と探究学習」です。データ分析や情報デザインをどのように授業に取り入れていくか、情報科で教科横断的な探究活動をどのように取り組むべきか、みなさまと一緒に考えていきたいと思います。今年も、講演とワークショップの2部構成で実施いたします。ご多忙の時期かとは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

令和2(2020)年

1月12日(日)

13:00

~17:00

講演 教科「情報」における探究活動とその留意点

時任 隼平 先生(関西学院大学 准教授)

実践報告・ワークショップ

神藤 健朗 先生(ドルトン東京学園中部部・高等部 教諭)

登本 洋子 先生(桐蔭学園高等学校 教諭)

司会進行

小林 道夫 先生(神奈川大学附属中・高等学校 副校長)

会場 神奈川大学みなとみらい
エクステンションセンター
KUポートスクエア
(クイーンズタワー A 14階)
<http://www.ku-portsquare.jp/about/access.html>
〒220-6014 神奈川県横浜市西区
みなとみらい2-3-1
みなとみらい線(東急東横線直通)
みなとみらい駅下車 徒歩約2分
JR根岸線、京浜東北線・横浜市営地下鉄
桜木町駅下車 徒歩約7分

主催 日本文教出版株式会社

参加費 1,000円(当日、受付にて現金でお支払いください)

対象 情報教育関係の小・中・高等学校・大学の教職員、大学・大学院の学生

定員 30名(定員になり次第、受付を終了させていただきます)

プログラムの詳細は、裏面をご覧ください▶

セミナープログラム(予定)：最新情報はWebサイトでご確認ください。

12:30-	受付開始
13:00-13:10	開会・オリエンテーション
13:10-14:10	講演:教科「情報」における探究活動とその留意点 時任 隼平 先生(関西学院大学 准教授) 新学習指導要領で重視されている「探究活動」を実践する際の留意点についてお話いただきます。指導方法や評価方法など、探究活動そのものがもつ特徴を取り上げるとともに、教科「情報」における探究活動と、他教科における探究の相違点について考えていきます。
14:10-14:20	休憩
14:20-15:30	実践報告・ワークショップ①: 統計グラフコンクールへの取り組みから考える 「情報Ⅰ」を見据えたデータ分析と情報デザインの実践 神藤 健朗 先生(ドルトン東京学園中等部・高等部 教諭) 統計グラフコンクールの取り組みは、統計データの読み解き方、適したグラフの作成、情報デザインを意識したグラフの配置など、「情報Ⅰ」で扱う内容が多く含まれています。ワークショップでは、作品制作を実際に行い、「情報Ⅰ」の中でどのように位置づけることができるか情報共有をします。
15:30-15:40	休憩
15:40-16:50	実践報告・ワークショップ②: 情報活用能力の育成を踏まえた探究の進め方 登本 洋子 先生(桐蔭学園高等学校 教諭) そもそも「探究とはどのような授業なのか?」と疑問に思っている生徒と教員も少なくありません。このワークショップでは、探究のプロセスを2時間で体験できる授業と、情報活用能力の育成を踏まえGoogle for Educationを使った探究の進め方をご紹介します。
16:50-17:00	閉会・まとめ

お申し込み方法

参加をご希望される方は、Webサイトの申し込みフォームに必要事項をご入力の上、お申し込みください。



<https://www.nichibun-g.co.jp/seminar/>

※お申し込みは先着順とし、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

お問い合わせ先

日本文教出版株式会社 東京本社

〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16

TEL 03-3389-4611 Fax 03-3389-4618

 **日本文教出版**
<https://www.nichibun-g.co.jp/>